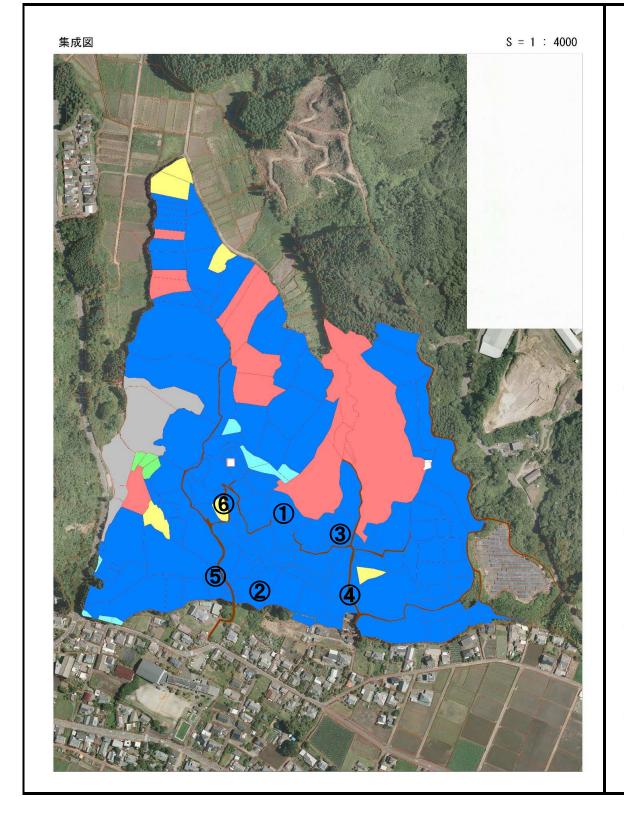
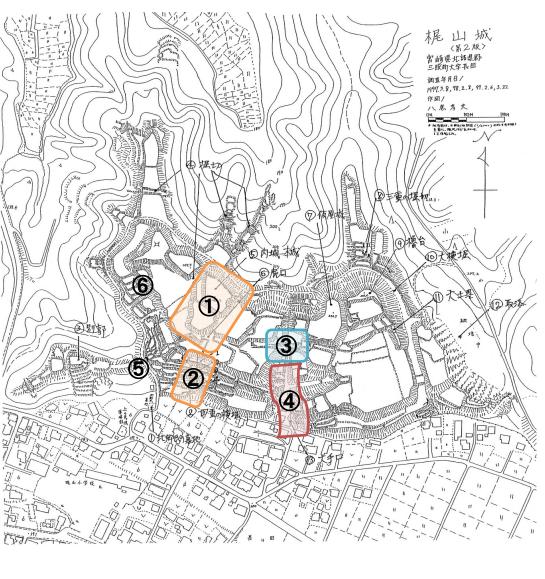
## ○梶山城跡 地籍図・縄張り図比較





- ① 内城(本丸とされる場所)及び虎口 ※発掘調査・復元ポイント
- ② 四重の横堀(三重との指摘あり) ※発掘調査ポイント
- ③ かぎ状に交差する箇所 ※復元ポイント
- 4 大手口(城の正面からの通路) ※倒木が多く復旧が必要
- ⑤ 遊歩道の一部が崩壊(安全確保まで立入禁止)



6 迂回路予定通路の状況(整備後、通行可能)



- (1) 令和5年度 梶山城跡地公園整備事業 三股町土地開発公社用地取得実績より
  - 取得済

取得困難

※公社資料参照

- (2) 梶山城跡縄張り図(八巻孝夫氏による原図作成:平成11年3月)
  - ・平成11年以降の破壊状況は反映されていない。
  - ・破壊後の縄張り図作成の指摘が県教委からあった。

梶山城跡は戦国時代末期の山城の姿を残す貴重な文化遺産であり、南九州の城郭史を研究する上でも重要な位置付けが 成されている

伐採や台風により一部は破壊されたが、縄張り図や平成14 年に実施した地形測量図を使い、発掘調査成果を盛り込みな がら復元・整備を行い、後世に伝えるのが基本理念である。

地元の熱意が喚起されるような活用方法も検討する必要がある。